



敦賀市
City of Tsuruga
The 7th Comprehensive Plan



第7次敦賀市 総合計画〈概要版〉



次世代につなげる

夢と希望に満ちた

住みたくなるまち敦賀



第7次敦賀市総合計画の策定にあたって

本市は、第6次敦賀市総合計画の後期基本計画となる「敦賀市再興プラン」を平成28年8月に策定し、市民の皆様の御理解と御協力の下、職員と一丸となって計画を推進してまいりました。

その結果、市民の皆様を対象とするアンケート（市民意識調査）において、過半数以上の方々から、本市のこれまでの取り組みを評価いただいたことは、市民とともに進めたまちづくりの成果と考えています。

一方で、この5年間で明らかになってきた課題もあります。人口減少対策は一定の成果を上げているものの、全国的な人口減少や東京一極集中は加速度を強め、本市の将来のまちづくりにおいて、大きな課題となっています。

さらに、コロナ禍を発端とした新しい生活様式の定着による社会経済環境の変化のみならず、カーボンニュートラルやDX（デジタルトランスフォーメーション）といった新たな潮流への対応も迫られています。

先般、総合計画の改定の期を迎え、このような変革に直面する困難な時代にあって、誰もが望む住み良いまちにするという総合計画本来の趣旨に立ち返るとともに、豊かな社会を未来に繋いでいきたいという思いを反映した「次世代につながる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」を基本理念とする第7次敦賀市総合計画を策定いたしました。

第7次敦賀市総合計画では、前計画にて課題となった人口減少対策の推進を統一的な政策目標として、全政策分野での

取り組みを進めていくこととし、各政策分野での政策方針を戦略として定め、その実現に向けた主要な取り組みを中期事業計画としてとりまとめました。

さらに、中期事業計画においては、子育て支援の充実と健康づくり、産業構造の複軸化をはじめとした、これまでの取り組みを一層強化するだけでなく、スマートエリアの形成など、新たな社会的潮流に対応した試みを掲げ、従来までの課題対応にとどまらず、新たな価値を創出する計画としました。

今後、市民の皆様、関係機関の方々とともに、計画の実現に向けて全力で各政策分野での取り組みを進め、夢と希望に満ちた敦賀のまちを築き上げていく所存です。

最後になりましたが、第7次敦賀市総合計画の策定にあたっては、貴重な御意見をいただきました市民の皆様をはじめ、敦賀市総合計画審議会に御参画いただきました産業・学識経験者・金融機関・労働者団体・報道機関・住民の代表者、まちづくり団体の代表者、多くの高校生・大学生の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。



敦賀市長 津上 隆信

敦賀の将来を担う若者の意見を反映した次世代の計画へ

- 産学金労言住の代表者等から構成される21名の総合計画審議会委員と一般参加者（市内高校生・大学生延べ15名）にて、計画を審議
- 審議会で検討した事業提案を実際に計画に反映し、事業化
- 前計画のまちづくりを継承し、着実に課題解決に向けた取り組みを進めるとともに新たな社会的潮流に対応できる総合計画へ



敦賀市のあゆみ

Since1972 敦賀市総合計画

住みよく豊かな都市をめざして



Since1990 第4次敦賀市総合計画

いきいき10万都市 敦賀



Since2011 第6次敦賀市総合計画

世界をつなぐ港まち みんなで拓く交流拠点都市 敦賀

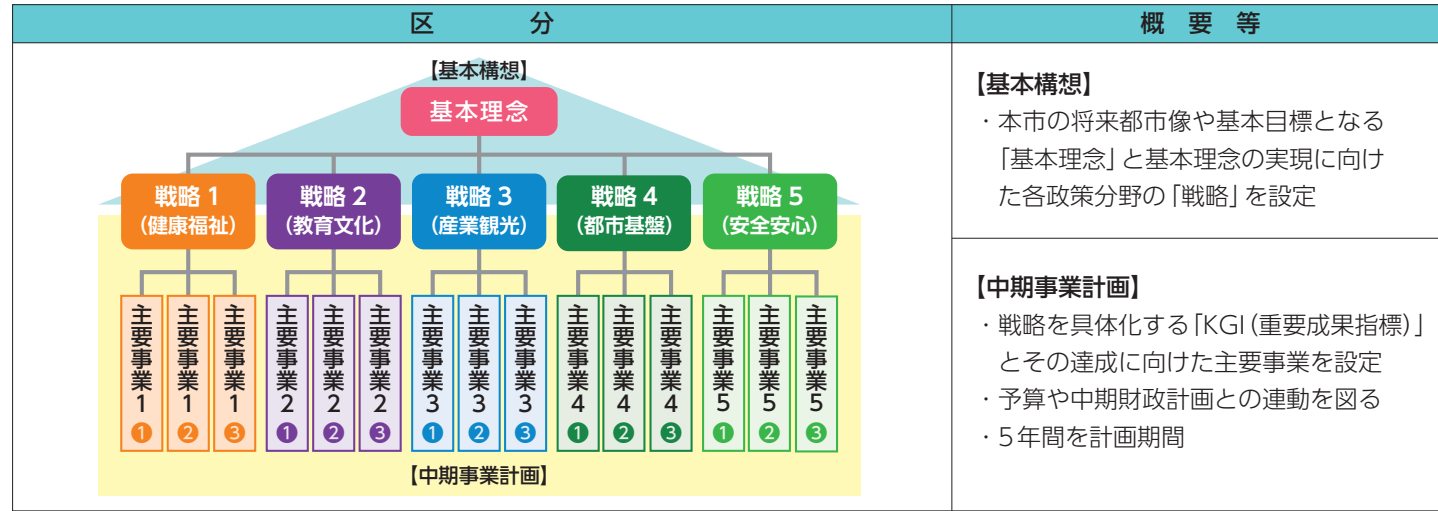


Since2021 第7次敦賀市総合計画

次世代につながる 夢と希望に満ちた
住みたくなるまち敦賀

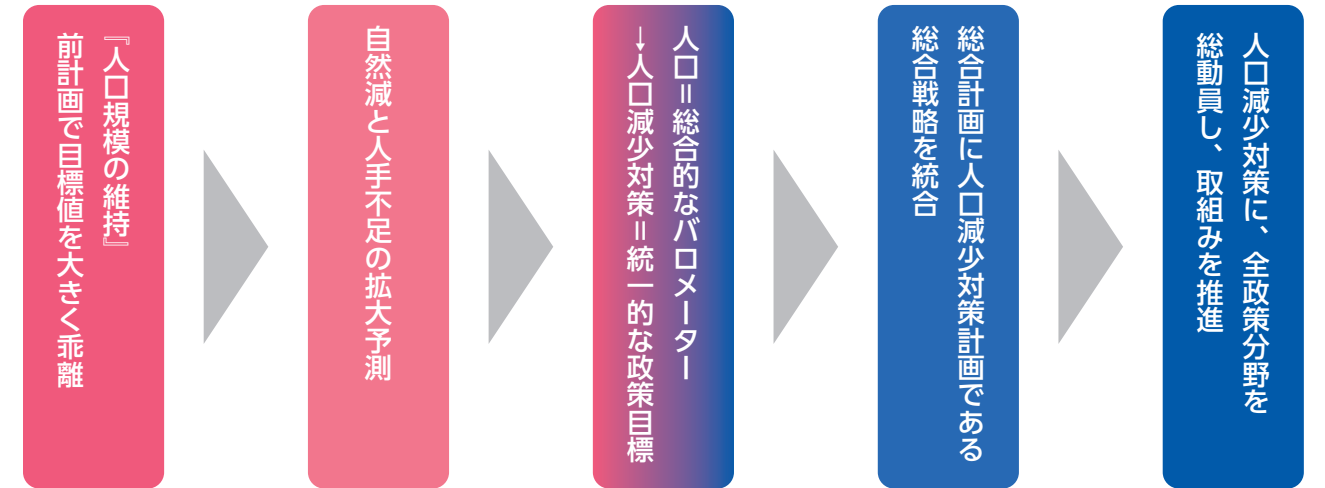
1 総合計画の構成

- 総合計画とは、地方公共団体が計画的な行政の運営を図るために定める計画のことであり、将来のまちづくりに向けた指針となるものです。
- 第7次敦賀市総合計画の構成は、次のとおり「基本構想」と「中期事業計画」の2層構造としています。



2 位置づけと重視する視点

- 第6次総合計画にて目標値と大きく乖離した人口規模の維持を最重視し、人口減少対策計画である地方版総合戦略と総合計画を統合しています。
- 人口減少対策の推進を統一的な政策目標に掲げ、全政策分野の取組みを推進します。



3 第7次敦賀市総合計画・基本構想の概要

基本理念 次世代につなげる 夢と希望 に満ちた住みたくなるまち敦賀

戦略1 世代をつなぎ暮らしやすい環境づくり

子育て環境日本一や地域共生社会(高齢者福祉、障がい者福祉などの充実)の推進、健康づくり推進などに向けた取組みを進めます。

戦略2 次世代につなげる人づくり

全市的な小中一貫教育を進めるなど、全国に誇り得る特色ある教育環境を整えるとともに、地域の特性を活かした学びを充実します。

戦略3 地域と人をつなぐ厚みの産業づくり

敦賀の強みを活かし多様な産業を呼び込むがりと多様性を重視します。また、本市の主要活性化、稼ぐ産業化をた地場産業の強化と企業誘致により、つなごう産業政策を展開し産業である商業などの支援します。

戦略4 未来につなげる都市づくり

新幹線開業に向けた受け皿づくりの総仕上げを行うとともに、生活道路や上下水道などの生活基盤の充実を図り、交流拠点にふさわしい都市づくり、暮らしやすい都市づくりに取り組みます。

戦略5 絆でつなぐ安全安心なまちづくり

東日本大震災や近年頻発する局地的大雨の発生を教訓に、抜本的な防災対策や減災対策に取り組むとともに、万が一の防災体制を整え、安全安心なまちづくりに取り組みます。

戦略の推進に向けて 市民とともに進める まちづくりの深化

「市民とともに進める」まちづくりを深化させ、様々な文化や人を受け入れ、まちへの誇りを育み、それぞれの持つ多様性を重視する中で、各戦略とこれ

発展してきた交流都市 敦賀の特性を活かし、全ての市民の皆様とともに、に基づく各種取組みを推進していきます。

戦略1 — 健康福祉分野 — 世代をつなぎ暮らしやすい環境づくり



※政策分野ごとの方向性

戦略



子育てに関する不安や悩みを解消し、安心して子育てができる環境を整備・発信するとともに、農福連携や障がい者の緊急時における対応拠点の整備、地域包括ケアシステムや健康寿命の延伸への取り組み等を推進することで、「誰もが安心して住み続けたいまち敦賀」を目指し、一生涯安心福祉や地域医療の充実に取り組めます。

※戦略を具体化する成果指標(目標値)

KGI (重要成果指標)



年少人口数
(0-14歳)
7,300人以上
(推計値以上)

結婚、妊娠から
子育て期にわたる
切れ目のない支援

KGI (重要成果指標)



就労系サービス
を利用する障がい者数
250人以上(月平均)
(現状217人)

居住・相談体制の
充実

65歳以上の新規
要介護認定者の
平均年齢
83.2歳以上
(現状82.6歳)

就労支援の
充実

生活支援・介護予防・
介護者支援の充実

KGI (重要成果指標)

日常的に運動
習慣のある
市民の割合
45%以上
(現状40%)

市民の健康習慣の
実践への意識醸成

※KGI達成に向けた主要事業の集合体(具体的な取組み)

子育て環境日本一プロジェクト

安心して子育てができ、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、結婚、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うとともに、子育て支援に関する情報発信に積極的に取り組み、子育て環境の一層の充実を図ります。



【結婚、妊娠、出産支援事業・地域子育て支援拠点事業】

結婚、妊娠及び出産等に伴う経済的負担を軽減し、結婚や出産を希望する方々の支援を行うとともに、気軽に育児相談等ができる場所を整備・運営することで、安心して子育てができる環境を整備します。



【教育保育施設整備事業・児童クラブ整備事業・保育園ICT推進事業】

保育園の利便性向上や環境改善、老朽化保育園の統廃合や改修、児童クラブの新設を行うことで、子育て環境の一層の充実を図ります。

地域共生社会推進プロジェクト

高齢者や障がい者が、地域社会の一員として、生き生きと暮らせるよう、高齢者福祉や障がい者福祉の充実を図ります。



【地域生活支援事業】

親元からの自立を希望する障がい児者及び障がい児者の高齢化や「親亡き後」を支援するため、居住支援の体制(相談、緊急時対応、専門的人材の養成等)を整備・運用します。



【自立支援給付等事業・農福連携サポート事業】

障がい者の自立に向けた就労等を支援します。また、伝統野菜や東浦みかん等の生産における農作業等において、福祉事業者と連携し、障がい者の就労の場の拡大を図ります。



【生活支援体制整備事業・地域医療充実化事業・介護人材確保対策事業】

住民同士の助け合い活動の体制を関係機関との連携のもと整備し、家族介護者の相談体制を強化するとともに、在宅医療等のサービスの充実を図ることで、地域全体で支え合う地域包括ケア体制を構築します。

健康づくり推進プロジェクト

市民一人ひとりが健康に住み続けられる敦賀を目指し、生涯にわたる健康づくりや介護予防、地域医療の充実に向けた取組みを推進します。



【多世代型ウェルネス広場整備事業・健幸スマイルチャレンジ事業】

健康づくりに対する市民の意識高揚を図るため、総合運動公園ちびっこ広場を多世代が楽しみながら健康づくりができる施設に改修するとともに、健康活動実践者へのインセンティブの提供など、健康習慣を実践・継続しやすい環境を整備します。

戦略2 — 教育文化分野 — 次世代につなげる人づくり



※政策分野ごとの方向性

戦略



県内公立初となる施設一体型小中一貫校「角鹿小中学校」の開校をはじめとした、全市的な小中一貫教育を進めるなど、全国に誇り得る、特色ある教育環境を整えるとともに、「人道の港」のエピソードをはじめとした地域の特性を活かした「学び」を充実することで、敦賀を次世代につなげ、支える人づくりに取り組みます。

※戦略を具体化する成果指標(目標値)

KGI (重要成果指標)



ふるさと学習に興味を持つ子どもの割合
小学生 70%以上
中学生 65%以上

(現状 小学校67.3%、中学校61.6%)

教育環境の充実

地域コミュニティと連携した教育の推進

KGI (重要成果指標)



公民館利用事業への参加者数
58,800人以上
(現状57,219人)

公民館事業の活性化

地域のつながりの強化

KGI (重要成果指標)



保存活用文化財及び文化施設への来場者数
980千人以上
(現状928千人)

敦賀の文化・芸術の振興と文化財の保存

新たな地域資源の掘り起こしと磨き上げ

※KGI達成に向けた主要事業の集合体(具体的な取組み)

特色ある教育環境整備プロジェクト

全国に誇り得る、特色ある教育環境を整えるため、角鹿小中学校の開校をはじめとした、全市的な小中一貫教育を進めるとともに、次世代を担う子どもたちのふるさと敦賀への誇りと愛着を育むための「学び」を充実します。



【教育環境の整備】

児童生徒の学習環境充実のため、「角鹿小中学校」の開校をはじめとした全市的な小中一貫教育を推進するとともに、個性に応じたきめ細やかな指導等を行う小規模特認校を運営することで、特色ある教育環境を実現します。



【子ども達のふるさと意識の醸成】

家庭・学校・地域が一体となって、学力向上とふるさと意識の高揚に向け、地域人材を活かした体験学習等を実施する地域教育コミュニティ推進事業に取り組みます。

地域コミュニティ推進プロジェクト

生まれ育った地域とのつながりをより強固にするため、公民館等を拠点とした地域コミュニティの活性化に取り組みます。



【放課後地域子ども教室推進事業】

地区の歴史・文化を知る教室等を公民館にて開催し、生まれ育った地区への愛着を深めます。



【地域コミュニティ推進事業・生涯学習推進事業】

栗野・東浦地区をはじめ、地区住民主導で、地域振興や地域のつながり強化に向けた活動を支援するとともに、様々な講座や教室の開催を通じて、公民館の地域コミュニティ拠点化を推進します。

文化財保存等プロジェクト

市民一人ひとりのふるさと敦賀への誇りと愛着を育むため、文化・芸術の振興や文化財等の保存・活用を行います。



【文化・芸術の振興及び既往文化財の保全整備】

敦賀の文化・芸術の振興に向け、文化団体の活動を支援するとともに、柴田氏庭園や西福寺等の既往の文化財について、文化交流拠点として保存・活用を図ります。



【新たな地域資源の掘り起こしと磨き上げ】

史跡金ヶ崎城跡や史跡武田耕雲斎等墓といったこれまで十分保存・活用が図られていなかった敦賀の地域資源を掘り起こし、新たな文化交流拠点・観光地として磨き上げていきます。

戦略3 — 産業観光分野 — 地域と人をつなぐ厚みのある産業 づくり



※政策分野ごとの方向性

戦略



素材・加工産業やエネルギー産業といった敦賀の強みを活かした地場産業の強化、周辺地域の産業との連携の深化により、関連企業の誘致等を推進することで、モノとエネルギーをつなぐ広域的な経済圏の形成に取り組むとともに、多様な産業を呼び込む企業誘致制度を構築するなど、「つながり」と「多様性」を重視した産業政策を展開します。

また、昨今の感染症拡大を踏まえた新たな生活様式への対応や北陸新幹線敦賀開業に向け、本市の主要産業である商業等の活性化、稼ぐ産業化を推進するとともに、人道の港をはじめとした地域資源を活かした受け皿づくりを推進し、広域的な観光圏の形成に取り組めます。

※戦略を具体化する成果指標(目標値)

KGI (重要成果指標)



新規投資額
80億円以上(累計)
新規雇用者数
150人以上(累計)

強みを活かした産業の育成と企業導入

新産業分野の集積やSociety5.0、DXへの挑戦

KGI (重要成果指標)



「卸売業、小売業」及び「宿泊業、飲食サービス業」の年間売上増加額
10億円以上

商品開発・ブランド化と市場拡大

ネット通販やインバウンド等観光需要への対応

KGI (重要成果指標)



観光客入込数
4,190千人以上(年間)
(現状 3,694千人)

金ヶ崎の観光拠点化の推進

官民の連携と得意分野を活かした一体的な展開

※KGI達成に向けた主要事業の集合体(具体的な取組み)

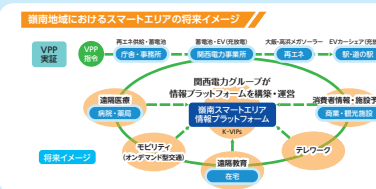
産業構造の複軸化・エネルギーの多元化推進プロジェクト

産業構造の複軸化等に向け、県の長期ビジョンも踏まえ、敦賀港等の敦賀の強みを活かした地場産業の強化や新規企業の誘致等に取り組むとともに、周辺地域との連携を深化させることで、敦賀を中心としたモノとエネルギーをつなぐ広域的な経済圏を形成します。



【企業立地補助金事業・産業間連携推進等事業】

企業の研究開発を支援するとともに、産業団地への企業誘致等に取り組むことで、敦賀を中心とするモノ・エネルギーのサプライチェーンを構築します。



【嶺南Eコースト計画推進事業】

再エネや水素エネ等のエネルギー基盤×情報基盤を構築し、これを活用した先端サービスを展開する企業の集積化による若年層の働く場の確保とDXを推進する敦賀市版スマートエリアの形成を目指します。

商業等活性化プロジェクト

感染症拡大の影響等によるネット通販需要等の拡大を踏まえ、本市の主要産業である卸・小売・飲食・宿泊業のみならず、一次産業の市場拡大等、稼ぐ産業化を推進します。



【地場製品のブランド化・開発とふるさと納税の拡大】

敦賀ふぐや敦賀真鯛をはじめとした地場製品のブランド化と商品開発を支援するとともに、ふるさと納税の返礼品とすることで、全国への販路拡大により、稼ぐ産業化を推進します。



【敦賀ネットモール利活用推進事業・キャッシュレス化の推進】

EC需要の拡大や北陸新幹線敦賀開業に向けた対応として、ネット上での商店街等の情報発信強化や電子バウチャーによる商業振興支援、様々な支払方式に対応したキャッシュレス化を推進します。

観光拠点等整備・回遊性向上プロジェクト

北陸新幹線敦賀開業に向け、観光拠点としての金ヶ崎周辺の整備を推進するとともに、二次交通や新たに整備される新幹線駅東口周辺の基盤整備を活かし、在来線西口への誘導による市内周遊に留まらず、周辺地域との連携による広域観光を展開します。



【金ヶ崎周辺整備構想推進事業】

民間活力の導入による飲食・物販機能の創出を促進するとともに、周辺の既存施設の管理状況を整理し、エリアマネジメントを推進することで、金ヶ崎周辺の観光拠点化を推進します。



【北陸新幹線まちづくり推進事業・広域観光推進事業等】

日本遺産(北前船、鉄道トンネル群)等を活用した誘客促進に取り組むとともに、北陸新幹線敦賀開業に向けて、官民連携の実行体制を立ち上げ、開業イベントや食・名物等の打ち出しにより、市内周遊に留まらない広域観光を一体的に展開します。

戦略4 — 都市基盤分野 — 未来につなげる都市づくり



※政策分野ごとの方向性

戦略



北陸新幹線敦賀開業に向け、その受け皿づくりの総仕上げを行い、広域的な観光圏・経済圏を実現する周辺地域とのネットワークの強靱化に取り組み、生活道路や上下水道等の生活基盤の充実を図ることで、交通の要衝、交流拠点にふさわしい都市づくりとともに、暮らしやすい都市づくりに取り組みます。

※戦略を具体化する成果指標(目標値)

KGI (重要成果指標)



広域道路網の整備継続(早期実現)

整備促進

KGI (重要成果指標)



全事業の整備完了
(北陸新幹線駅周辺施設・道路整備事業、駅西地区土地活用事業)

交通結節機能の強化

交流都市にふさわしい玄関口の整備

KGI (重要成果指標)

・汚水処理人口普及率
97.5%
(現状 93.9%)

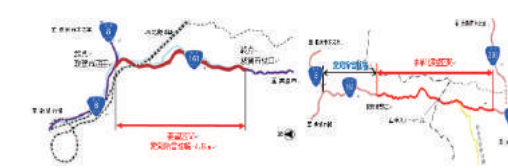
主要事業の整備完了
(一般廃棄物最終処分場)

生活環境の維持・向上

※KGI達成に向けた主要事業の集合体(具体的な取組)

広域交通網整備プロジェクト

広域的な観光圏・経済圏を実現するため、周辺地域等との交流や物流の円滑化につながる交通網ネットワークの強靱化に取り組みます。



【国道8号敦賀・南越前バイパス・敦賀バイパス・国道161号拡幅】
国道8号敦賀・南越前バイパス、敦賀バイパス及び国道161号拡幅について、整備促進活動を実施し、早期実現を目指します。



【市道西浦2号線整備事業】
急勾配、急カーブの多い県道のバイパス道路を市道として整備します。

駅周辺整備プロジェクト

来訪者の玄関口となる敦賀駅周辺施設や来訪者が快適に過ごすための環境整備を図り、交流拠点にふさわしい都市づくりに取り組みとともに、北陸新幹線開業後の市内周遊や広域観光の展開のみならず、通勤・通学の拠点形成となる基盤整備を実現します。



【北陸新幹線駅周辺施設・道路整備事業】
新幹線駅前広場や駅周辺の道路の整備を行うとともに、特に、新幹線駅前広場においては、効率的な観光バスの配車や西側への誘導を促すロータリーを整備します。



【駅西地区土地活用事業・公共空間活用推進事業】
駅西地区に民間活力による宿泊、飲食・物販等の機能を有する交流・賑わい施設を整備するとともに、公共空間を活用したイベント等を実施し、人の流れを創出します。

生活基盤整備プロジェクト

全ての市民が快適で暮らしやすい環境を維持していくために、生活道路や上下水道の整備、清掃センターの整備等といった生活基盤の整備に取り組みます。



【下水道の未普及対策事業・道路改良事業等】
公共用水域の水質保全及び生活環境の改善のため、汚水管渠を整備します。また、人口減少と高齢化を踏まえ、交通弱者に配慮した市道改良やコミュニティバスの運行等に取り組みます。



【一般廃棄物最終処分場・清掃センター整備事業】
新しい一般廃棄物最終処分場及び新清掃センターについて、本市と美浜町にて、共同で整備を行います。

戦略5 — 安全安心分野 — 絆でつなぐ安全安心なまちづくり



※政策分野ごとの方向性

戦略



東日本大震災や近年頻発する局地的大雨の発生を教訓に、笙の川の整備促進等の抜本的な防災対策や公共施設の耐震補強等の減災対策に取り組むとともに、国内有数の原子力発電所立地自治体であることや昨今の感染症拡大に関する知見等を踏まえ、原子力安全対策とともに、万が一の防災体制等を整え、安全安心なまちづくりに取り組みます。

※戦略を具体化する成果指標 (目標値)

KGI (重要成果指標)



緊急時の防災拠点・一時避難施設の運用

防災拠点の強化

業務継続性の強化

KGI (重要成果指標)



防災・減災対策事業の計画的実施

抜本対策による治水等の強化

減災対策による浸水対策の強化

KGI (重要成果指標)



自助意識を高める地域防災マップの作成や防災研修等の参加者数
9,000人以上
(現状 8,565人)

感染症対策や複合災害対策の推進

きめ細やかな体制強化と理解促進

※KGI達成に向けた主要事業の集合体 (具体的な取組み)

防災拠点施設整備プロジェクト

万が一の災害時において、防災拠点となる市庁舎及び消防庁舎について、様々な災害に耐え得る施設として整備し、災害対応のみならず業務継続性の強化を図ります。



【市庁舎及び消防庁舎整備事業】

災害時にも庁舎機能を維持可能な自立型防災拠点 (耐震性能に加え、自家発電システム・水等を確保) として整備し、緊急時の一時避難等にも対応可能な施設として運用します。



【業務継続計画 (BCP) の改定及び運用】

新庁舎の設備等の仕様を踏まえた業務継続計画の改定を行うとともに、最新の知見を踏まえ、業務継続計画の随時改定・運用を行います。

災害に強いまちづくりプロジェクト

河川改良等の抜本的な防災・減災対策に取り組み、避難道の確保や上下水道の更新等、災害に強いライフラインの整備を推進します。



【河川改修、砂防及び急傾斜地崩壊対策事業】

笙の川水系・井の口川水系の河川の改修や急傾斜地危険指定箇所の整備をはじめとした治水対策、土砂災害対策を実施します。



【下水道の浸水対策事業・上水道の配水設備改良事業】

浸水対策として、公共下水道の雨水幹線築造や松島ポンプ場の計画的な改築を行うとともに、耐震化対策として上水道の基幹管路の更新を行います。

原子力安全・防災体制強化プロジェクト

これまでに得られた感染症拡大に関する知見を防災事業等に反映するとともに、市民自らが災害に備えることができるよう、自主防災組織の活動の支援や原子力・防災に関する知識の普及に取り組みます。



【防災対策事業等への感染症対策の反映】

これまでに得られた感染症拡大に関する知見を防災事業等に反映し、資機材の備蓄や各種計画等の更新を行います。



【防災啓発事業・地域防災マップ作成支援事業】

地域における災害への備えとして、市民への防災啓発を行うとともに、危険箇所や避難場所等の把握や災害時の連絡体制構築を目的とした地域防災マップの作成や更新を支援します。

— 戦略の推進に向けて — 市民とともに進めるまちづくりの 深化




※政策分野ごとの方向性

※戦略を具体化する成果指標(目標値)

※KGI達成に向けた主要事業の集合体(具体的な取組み)

戦略



「次世代につなげる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」を実現していく上で、敦賀市再興プランにて基本方針とした、「市民とともに進めるまちづくり」をさらに深化させ、様々な文化や人を受け入れ、発展してきた交流都市 敦賀の特性を活かし、全ての市民の皆様とともに、まちへの誇りを育み、それぞれの持つ多様性を重視する中で、各戦略とこれに基づく各種取組みを推進していきます。

KGI (重要成果指標)



新規移住定住者数 50人以上(累計)

移住定住 × 就業
移住定住 × 働く場
移住定住 × トレンド × 実効性

KGI (重要成果指標)



敦賀市に愛着を感じている市民の割合 85%以上
(現状 82.8%)

まちづくり等への市民活動団体の参画促進
まちづくり等への市民の参画促進
市民の愛着の醸成と戦略的な魅力発信

移住定住促進プロジェクト

多様な人が集い、活躍する住みたくなるまちを実現していく上で、北陸新幹線敦賀開業に向けたまちづくりや新しい生活様式への対応等の新しい環境変化を踏まえ、地域経済の活性化を促す施策と連携し、この課題解決等のために移住定住施策を展開します。

- 【U・Iターン移住就職等支援金事業】**
子育て世帯等に対して、市内への移住就職を支援するとともに、市民との協働による移住者向け広報素材の作成を行い、移住定住の促進により、企業の人手不足の解消を支援します。
- 【サテライトオフィス整備促進事業】**
新しい生活様式への対応の一環として、企業のサテライトオフィスを市内に誘致し、移住定住の促進を通じて、若い世代等の多様な働く場を創出します。
- 【効果的な移住定住施策の展開】**
人手不足やリモート需要の増大、北陸新幹線敦賀開業といった移住定住を取り巻くトレンドや環境変化を適切に捉え、効果的な移住定住施策を展開します。

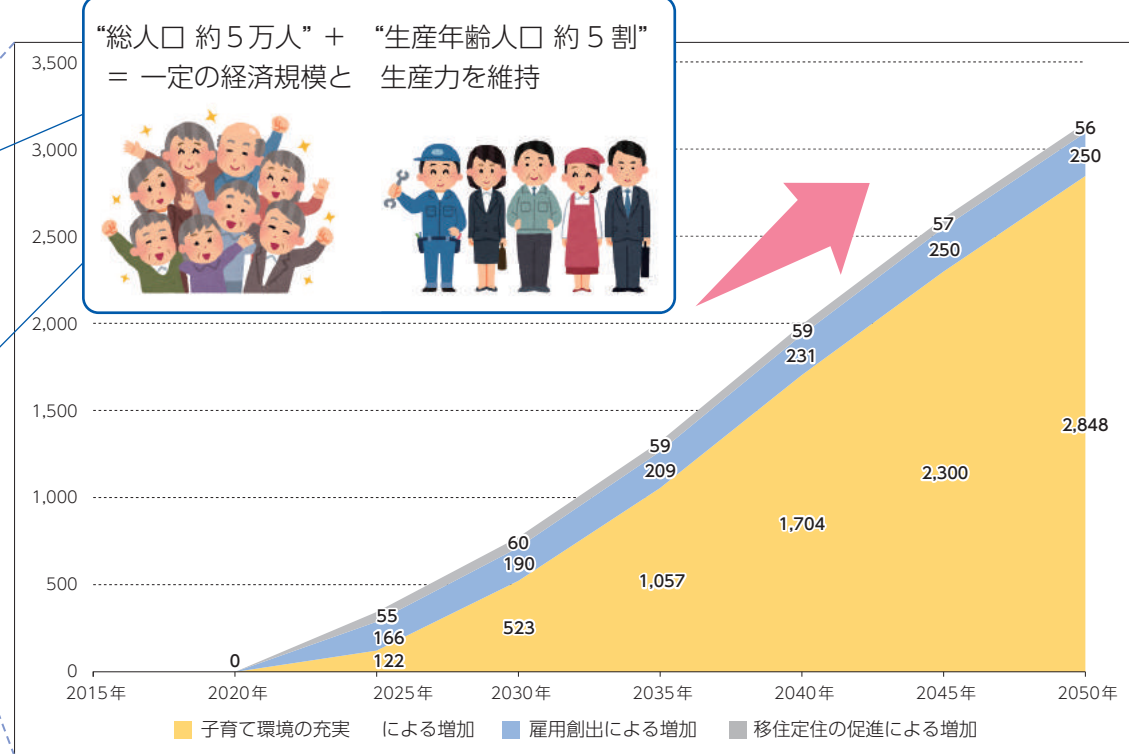
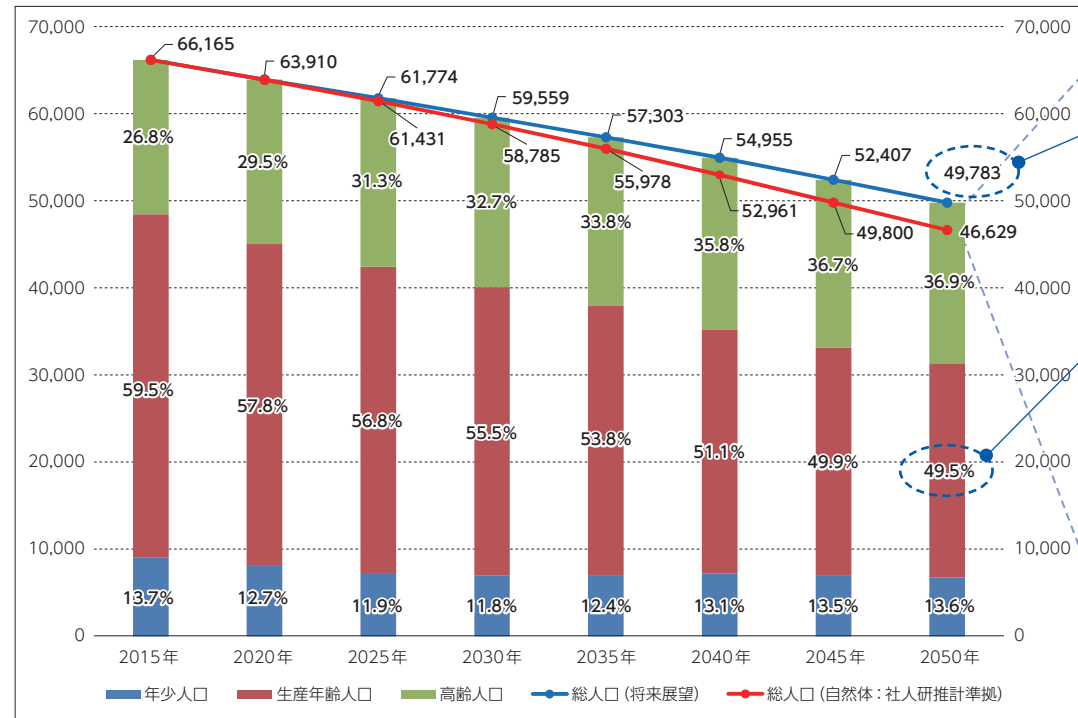
市民とともに進めるまちづくりプロジェクト

「次世代につなげる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」を実現していく上で、全ての戦略とこれに基づく各種取組みを推進するため、「市民とともに進めるまちづくり」をさらに深化させます。

- 【市民協働・NPO等活動推進事業】**
市民や市民活動団体を対象とした研修会を開催し、市との協働事業やまちづくりのための事業を提案する市民活動団体等の活動を支援します。
- 【地域じまんづくり事業・高校生等との連携 等】**
地域の实情に応じた個性豊かできめ細やかなまちづくりに対して、支援を行います。特に、次代を担う中高生等のアイデアや活動をまちづくりに積極的に反映していきます。
- 【シティプロモーション推進事業・まちづくりプレーヤー発掘・育成支援事業】**
北陸新幹線敦賀開業に向け、まちづくりプレーヤーの発掘・育成を行うとともに、敦賀の魅力を経営的に発信するシティプロモーション計画を策定・実施します。

人口ビジョンの将来展望に 向けたロードマップ

1 人口ビジョンの将来展望及び増加内訳



“総人口 約5万人” + “生産年齢人口 約5割” = 一定の経済規模と生産力を維持

【人口ビジョンの将来展望】

- ・ 社人研推計に準拠した推計を「自然体」とし、これに中期事業計画の効果を踏まえて「将来展望」を推計
- ・ 中期事業計画の終了期の2025年時点で343人増、2050年時点で3,154人増(対自然体)を見込む
- ・ また、2050年時点で生産年齢人口の構成割合の約5割維持を見込む
- ・ なお、今後の合計特殊出生率は国・県の人口ビジョンに準拠して設定

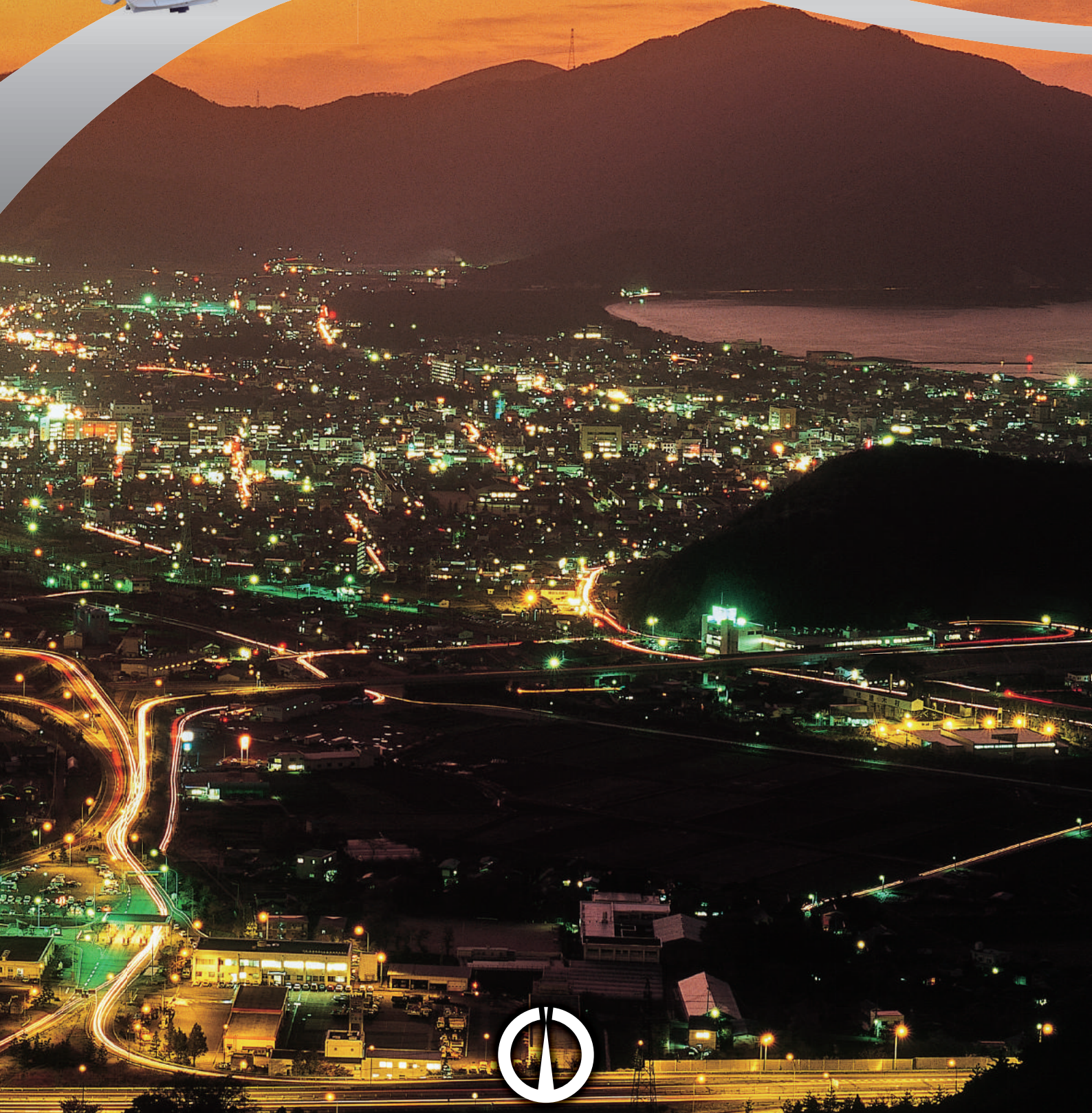
【主な増加効果(対自然体)】

- ① 子育て環境の充実による増加
子育て環境日本一PJの保育園・児童クラブの充実等により、子どもの増加を見込む
- ② 雇用創出による増加
産業構造の複軸化等PJの第2産業団地への企業立地促進等により、生産年齢人口の増加を見込む
- ③ 移住定住の促進による増加
移住定住促進PJのU・Iターン移住就職支援の実施等により、移住定住者の増加を見込む

政策分野別プロジェクトと 重要成果指標一覧

戦略1	健康福祉分野	世代をつなぎ暮らしやすい環境づくり		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	子育て環境日本一プロジェクト	年少人口数	-	7,300人以上
	地域共生社会推進プロジェクト	就労系サービスを利用する障がい者数 (月平均)	217人	250人以上
	健康づくり推進プロジェクト	65歳以上の新規要介護認定者の平均年齢	82.6歳	83.2歳
		日常的に運動習慣のある市民の割合	40%	45%以上
戦略2	教育文化分野	次世代につなげる人づくり		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	特色ある教育環境整備プロジェクト	ふるさと学習に興味を持つ子どもの割合	小学生 67.3% 中学生 61.6%	小学生 70%以上 中学生 65%以上
	地域コミュニティ推進プロジェクト	公民館利用事業への参加者数	57,219人	58,800人以上
	文化財保存等プロジェクト	保存活用文化財及び文化施設への来場者数	928千人	980千人
戦略3	産業観光分野	地域と人をつなぐ厚みのある産業づくり		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	産業構造の複軸化・エネルギーの多元化推進プロジェクト	新規投資額 (累計)	-	80億円以上
		新規雇用者数 (累計)	-	150人以上
	商業等活性化プロジェクト	「卸売業、小売業」及び「宿泊業、飲食サービス業」の年間売上増加額	-	10億円以上
	観光拠点等整備・回遊性向上プロジェクト	観光客入込数 (年間)	3,694千人	4,190千人

戦略4	都市基盤分野	未来につなげる都市づくり		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	広域交通網整備プロジェクト	広域道路網の整備継続 (早期実現)	-	整備継続 (早期実現)
	駅周辺整備プロジェクト	全事業の整備完了 (北陸新幹線駅周辺施設・道路整備事業、駅西地区土地活用事業)	-	整備完了
	生活基盤整備プロジェクト	汚水処理人口普及率	93.9%	97.5%
		主要事業の整備完了 (一般廃棄物最終処分場)	-	整備完了
戦略5	安全安心分野	絆でつなぐ安全安心なまちづくり		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	防災拠点施設整備プロジェクト	緊急時の防災拠点・一時避難施設の運用	-	運用
	災害に強いまちづくりプロジェクト	防災・減災対策事業の計画的実施	-	計画的実施
	原子力安全・防災体制強化プロジェクト	自助意識を高める地域防災マップの作成や防災研修等の参加者数	8,565人	9,000人以上
戦略の推進に向けて		市民とともに進めるまちづくりの深化		
	主要なプロジェクト	KGI (重要成果指標)	基準値	目標値 (2025)
	移住定住促進プロジェクト	新規移住定住者数 (累計)	-	50人以上
	市民とともに進めるまちづくりプロジェクト	敦賀市に愛着を感じている市民の割合	82.8%	85%以上



敦賀市
City of Tsuruga
The 7th Comprehensive Plan